

平成 31 年 3 月 1 日

遺伝子解析研究に関する情報（一般公開用） 「保存試料を用いた遺伝子解析研究のお知らせ」

京都大学大学院医学研究科では、形態形成機構学、外胚葉性疾患創薬医学、精神科神経科、免疫膠原病内科、小児科の 5 講座の共同研究として『自己免疫学的機序による高次脳機能の変調とその成因についての探索的研究』を実施します。本研究は保存試料の利用も含め、京都大学において倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施するものです（承認番号：G1167）。

研究の遂行に際して、本研究開始以前に京都大学医学部附属病院を受診され、研究目的で生体試料を提供いただいた患者さんおよびボランティア被験者さんのうち、生体試料の保管と将来的な他の研究への提供に同意していただいた方を対象として、新たな研究への生体試料の活用をお願いしたいと思っています。

今回の研究は、「過度の疲労や抑うつといった精神的な症状が、免疫系の調節機能の破綻により生じるのではないか」との仮説の下、血液やその他の生体試料中の、脳組織に対する自己抗体、脳組織のダメージの痕跡や免疫系を攪乱する物質、その反応を規定する遺伝学的要因などを幅広く解析し、後天的な高次脳機能障害の病態の解明や治療の向上を目指すもので、医の倫理委員会の審査と承認を経て、精神神経科、免疫膠原病内科、小児科において以前に提供していただいた生体試料を用い、試料中の遺伝子の解析を含む、様々な物質の解析を行うことを計画しています。今回、上記の研究に生体試料を流用する予定の研究は、免疫膠原病内科で行われた『膠原病難治性病態の早期診断、病態解明、および新たな治療方針確立のための自己抗体・生理活性物質測定、および細胞免疫機能解析に関する研究』、および精神科神経科で行われた『高次脳機能障害の症候学的特徴とその神経学的基盤・バイオマーカーに関する縦断研究』です。

以前に生体試料を提供いただいている場合でも、生体試料の保管や将来的な他の研究への提供を拒否されている場合には、対象となりませんのでご安心ください。

【個人情報保護について】

- ・ 個人情報（個人が特定できるような情報）が公表されることは一切ありません。
- ・ 研究機関外に氏名などの個人情報を提出することはありません。

【参加拒否の自由】

- ・参加拒否は完全に自由、随時参加を撤回することが可能です。それにより医療上の不利益が発生することはありません。ただし、同意を取り消した時点で既に研究結果が公表されていた場合など、全ての解析結果を廃棄することが出来ない場合があることをご了承ください。
- ・本研究について、ご自分の試料が研究の対象になると考えられ、研究内容について詳しい説明を希望される方、あるいは研究には使用して欲しくないとお考えの方は、以前に試料を採取した際の研究の担当者、または下記の連絡先までご連絡ください。

研究期間：研究承認日より 2023 年 3 月 31 日まで

【本研究に関する問い合わせ】

- ・免疫膠原病内科での研究参加者はこちらまで
試料採取責任者：京都大学大学院医学研究科 免疫膠原病内科 教授 三森経世
試料採取担当者：京都大学大学院医学研究科 免疫膠原病内科 特定病院助教 秋月修治
住所：〒606-8501 京都左京区聖護院川原町 54
電話：075-751-4380（免疫膠原病内科）
- ・精神科神経科での研究参加者はこちらこちらまで
試料採取責任者：京都大学大学院医学研究科 精神科神経科 教授 村井俊哉
試料採取担当者：京都大学大学院医学研究科 精神科神経科 助教 上田敬太
住所：〒606-8501 京都左京区聖護院川原町 54
電話：075-751-3386（精神科神経科）
- ・研究計画や研究内容についてはこちらまで
研究実施責任者：京都大学大学院医学研究科 形態形成機構学 教授 萩原正敏
連絡窓口：京都大学大学院医学研究科 形態形成機構学 特定助教 栗屋智就
住所：〒606-8501 京都左京区吉田近衛町
電話：075-753-4341（形態形成機構学）

【苦情等の窓口】

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

電話：075-751-4748

電子メール：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp